



ダウタウン

ペンシルベニア州の州都ピッツバーグのダウタウンは、アレゲニー川とモノンガヒラ川が合流しオハイオ川となる三角洲の部分にあることから「ゴールデン・トライアングル」と呼ばれています。市内に架かる橋の総数は446と、イタリアのヴェネチアを上回る世界一の数を誇ります。かつては「鉄鋼の町」として栄えたピッツバーグ。80年代に鉄鋼業は衰退しましたが、産業の多様化により地域経済は復興を果たし、2009年にはG20の開催地となりました。



世界の地域から

ピッツバーグ (アメリカ ペンシルベニア州)



ピッツバーグ大学

1878年に創設された全米屈指の大学。校舎の一つである42階建ての「学びの聖堂」は、1921年に建てられ、大学のシンボルとなっています。建物内にはピッツバーグのあるアレゲニー郡内に居住するさまざまな民族の文化を表現した「Nationality Room」と呼ばれる教室があり、観光名所にもなっています。ピッツバーグ大学のあるオークランド地区は周囲にカーネギーメロン大学や博物館、美術館などが多数位置し、「治安が良く住みやすい街」としても高く評価されています。